

11 災害に備える

1 日頃の備え

備蓄品・非常持出品の用意

普段のママパパバッグにプラス

マザーズバッグは子どもに必要なものが入っています。各家庭で災害時に必要なものをプラスして災害仕様に。

●非常食・水

飲料水、哺乳瓶・粉ミルク、離乳食・子どものおやつ、非常食

●貴重品

現金、健康保険証等

●その他

ガーゼ・ハンカチ等、ティッシュ、紙おむつ、おしり拭き、ビニール袋、衣類一式、抱っこ紐、ホイッスル等、薬(必要時)、子ども用おもちゃ、歯磨きセット

*各家庭の状況や年齢で異なります。必ず「我が家は?」とイメージしてください。

非常持出品をチェック

【一次持出品】(災害時に持ち出すもので、最低限必要なもの)

●非常食・水

飲料水、非常食(缶詰・レトルト食品等)、粉ミルク・離乳食・子どものおやつ

●衣類

下着・靴下、上着、靴(上ばき)、衣類、毛布、タオル

●貴重品

現金、健康保険証(コピー可)、通帳・印鑑

●その他

紙おむつ、おしり拭き、ウェットティッシュ、大きなゴミ袋、洗面道具、生理用品、懐中電灯、電池、充電器、ライター(マッチ)、ローソク、筆記具・メモ用紙、携帯レインコート、保温シート

●救急用品

常備薬・お薬手帳、救急医療品、マスク、ヘルメット(防災頭巾)、三角巾・ガーゼ(布)、軍手

【二次持出品(家庭内備蓄品)】(数日間生活するために最低限必要なもの)

●飲料水

飲料水(1人1日3リットルを目安に)

●非常食

非常食: そのまま食べられるか、お湯を足す程度の簡単な調理で済むもの
容器類: ラップで包むと洗う水が不要

●生活用品

ラップ(食品用)、アルミホイル、トイレトペーパー、新聞紙、ビニール袋、衣類、寝袋、毛布類、靴・スリッパ、ドライシャンプー、カセットコンロ、燃料、ポリタンク、はさみ、赤ちゃん用爪切り、簡易トイレ

2 避難時の注意

～逃げる前に、ご注意ください～

災害が発生しても「すぐ避難所へ!」ではありません

【避難が必要になる場合】

- ☐ 家屋の大規模損壊
- ☐ 自宅で生活できなくなった
- ☐ 火災の延焼拡大
- ☐ 行政、消防、警察からの指示
- ☐ 自主防災組織からの呼びかけ

→近くの避難所へ



避難するときの注意!

- 徒歩で避難する
- 持ち物は最小限にする
- 車での移動は危険
- 大荷物を背負っての避難は危険

自宅避難のススメ

災害時、小さい子どもを連れての避難所生活はとても大変です。

でも、家で生活できれば避難する必要はありません。

自宅の備蓄で7日間は自力で生活ができるようにしておくことをおすすめします。

家庭内備蓄のススメ

災害発生直後はライフラインが止まることもあり、食料や日用品等が手に入りづらくなります。最低でも3日間、できれば7日間以上の備えが必要です。

参考 ▶P96「二次持出品(家庭内備蓄品)」

*各家庭の状況や年齢で必要なものは異なります。必ず「我が家は?」とイメージしてください。

3 避難情報とは

高



危険度

低

緊急安全確保

すでに安全な避難ができず、命が危険な状況です。命を守るための最善の行動をとってください。

避難指示

危険な場所から全員避難してください。土砂災害や洪水から自宅が危険な場合には、立退き避難をし、自宅の上階への移動や高層階に留まること等により身の安全を確保できる場合には屋内安全確保をしてください。

高齢者等避難

お年寄りや体の不自由な方等、避難に時間がかかる人は避難を開始してください。高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難行動をとるタイミングです。

災害に強い家族づくりを!

日頃から家族で確認しておきましょう。

- ☐ 災害時に集まる場所(避難ルート・避難場所・家族の合流場所等)
- ☐ 会社や学校からの帰宅方法
- ☐ 緊急時の連絡方法
- ☐ その他の宿泊先

4 災害時の情報の入手

災害時には、正確な情報を早く知り、適切に判断することが重要です。
川崎市では、気象情報や注意報、地震情報、光化学スモッグ情報等の防災に関する情報を、様々な方法で皆さんにお知らせしています。

メールで

●メールニュースかわさき

登録いただいたアドレスあてに防災情報を配信します。
以下の登録用メールアドレスに空メール(件名・本文不要)を送信してください。

✉ t-kawasaki@sg-p.jp

- * 情報配信料は無料ですが、通信費は本サービス登録者の負担となります。
- * ドメイン指定受信等の迷惑メール対策を設定している場合、このサービスが利用できない場合があります。あらかじめ「kawasaki@sg-p.jp」が受信できるよう設定の確認をお願いします。

●緊急速報メール

携帯電話やスマートフォンを使った災害時などの通信規制の影響を受けにくいとされる情報伝達手段です。対象となる地域の方に、避難や津波等の緊急情報を一斉に電子メールでお知らせします(受信料不要・事前登録不要)。

- * 通信事業者ごとに、それぞれ次の名称を使用しています。
NTTドコモ：緊急速報「エリアメール」
au及びソフトバンク：緊急速報メール「災害・避難情報」

インターネットで

●防災情報ポータルサイト

災害に関する緊急情報や被害情報、避難情報などを提供しています。

HP <https://portal.kikikanri.city.kawasaki.jp/>

●川崎市防災気象情報

川崎市に関する防災気象情報を提供します。

HP <https://kawasaki.tenki.ne.jp/#/>



▲防災情報ポータルサイト



▲川崎市防災気象情報

テレビ・ラジオで

●川崎市防災気象情報

地上デジタル放送…テレビ神奈川(3ch)の地上デジタル放送及びワンセグ放送のデータ放送を利用して、防災気象情報を配信します。

ケーブルテレビ(イツコム・YOUテレビ・ジェイコム)…災害時に、データ放送で防災気象情報を配信します。

コミュニティFM…川崎市からの緊急放送をかわさきFM(79.1MHz)を通じて放送したり、安否情報、ライフライン等の生活情報を放送します。

X(旧Twitter)で

●危機管理本部公式 X(旧Twitter)

川崎市における防災・気象・災害等に関する情報を「川崎市危機管理本部」の公式 X(旧Twitter)で発信します。

アカウント：@kawasaki_bousai https://twitter.com/kawasaki_bousai

防災行政無線で

災害時に、市民の皆さんに防災気象情報をお知らせするため、市内の避難所・広域避難場所・急傾斜地・主要ターミナル駅・海岸地域等に防災行政無線の屋外受信機(スピーカー)を設置しています。

かわさき防災アプリで *かわさきアプリは市の公式アプリです。

かわさきアプリのサービス「防災アプリ」では、災害時の緊急情報や避難情報等をプッシュ通知で受けられるほか、最寄りの避難所の案内や震度情報・気象情報の表示、各種ハザードマップを見ることができます。



電話で

防災行政無線の内容を電話で聞くことができます(通常時は「防災一口メモ」等)。

●防災テレフォンサービス

神奈川県内の一般加入電話、公衆電話の一部及び一部のIP電話

0120-910-174 (通話料無料)

携帯電話・PHS・神奈川県外の一般加入電話・公衆電話など

044-245-8870 (通常の通話料がかかります)

安否情報の確認

●忘れていない? 災害用伝言ダイヤル 171

大規模な災害が発生した場合にサービス提供を開始する、被災住民の安否情報を伝える声の伝言板です。もしものために、利用方法を「忘れてイナイ(171)」と覚えておきましょう。

* ご利用にあたっては、発信地域から「被災地の方の電話番号」の該当地域までの通話料がかかります。

* 毎月1・15日、正月三が日、防災週間(8月30日～9月5日)、防災とボランティア週間(1月15～21日)は体験利用できます。

●災害用伝言板(web171)

災害等の発生時に、インターネットを経由して伝言板サイトにアクセスし、電話番号等をキーとして伝言情報の登録が可能なサービスです。

<https://www.ntt-east.co.jp/saigai/web171/>

* 他にも、通信キャリア等で災害用伝言板を提供しているので、事前に確認をしておきましょう。



伝言の録音方法

171

▼ガイダンス

1

▼ガイダンス

市外局番から

ダイヤル

伝言録音時間：1伝言あたり30秒以内
伝言保存期間：録音してから2日(48時間)

伝言の再生方法

171

▼ガイダンス

2

▼ガイダンス

市外局番から

ダイヤル

伝言備蓄数：1電話番号あたり1～10伝言
伝言の消去：保存期間を経過した時点で自動的に消去